



# 共創オープンフォーラム ソーシャル・インパクト・ヨコハマ 2019 ～ 子どもの居場所づくり・学習支援の取組から～

日時：令和元年8月21日(水) 14時～16時（開場 13時30分）

会場：横浜情報文化センター 6階 情文ホール

（横浜市中区日本大通 11 番地）

申込み：8月19日(月) 17時まで

申込先：<https://yokohama-kyoso-openforum20190821.peatix.com/>

参加費：無料 定員：239名



## ■ 共創オープンフォーラム

横浜市では、市民、企業、NPO、大学等の民間の皆様と行政が互いに知恵とノウハウを出し合い、限られた資源を活用しながら、社会的な課題や地域課題の解決を目指す「共創（公民連携）」の取組を進めており、公民の対話、交流の場として、「共創オープンフォーラム」を開催しています。

## ■ ソーシャル・インパクト

社会的課題の解決のための新たな公民連携手法であるソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）について、横浜市では、平成27年度から本市の事業への導入可能性について調査研究を開始してきました。平成28年度から取り組んできた社会的インパクト評価モデル事業（おさん・ひなた塾）※におけるこれまでの中間成果を発表します。この機会に、近年関心が高まっている社会的インパクト評価に取り組む意義や効果について、ご参加の皆様と共に考える場としてフォーラムを開催します。

### ※ 社会的インパクト評価モデル事業（おさん・ひなた塾）

民間事業者と横浜市が連携し、家庭環境等に何らかの困難を抱える子どもを主な対象に、以下の支援をセットで提供し、「社会的インパクト評価」を実施。

- ・学習支援（大学生ボランティア等による週3回の放課後の学習支援）
- ・生活支援（登録した児童には100円で温かい食事を提供。いわゆる「子ども食堂」機能）
- ・居場所づくり（家庭や学校とは異なる第三の場所（サードプレイス）として安心して過ごせる居場所）

社会福祉法人たすけあいゆいが運営する地域に根差したコミュニティーサロン「おさん」を拠点に、ゴールドマン・サックスから運営資金等の支援を受けて事業を実施している。

<コミュニティーサロンおさん外観>



<おさん・ひなた塾での学習支援の様子>



## ● 資金提供者からのビデオメッセージ



持田 昌典 氏

(ゴールドマン・サックス証券株式会社 代表取締役社長)

略歴：1977年慶應義塾大学経済学部卒業、第一勧業銀行（現みずほ銀行）入社。1985年ペンシルベニア大学ウォートン校（経営大学院）修士課程修了、米ゴールドマン・サックスに入社。1998年、ゴールドマン・サックス証券会社東京支店長に就任。2001年から現職

## ● 基調講演「ソーシャル・インパクト・ボンドの国内外の最新動向」



塚本 一郎 氏

(明治大学経営学部 教授／株式会社 公共経営・社会戦略研究所 代表取締役社長)

専門分野は社会的企業論、公共経営論、社会的投資、インパクト評価。内閣府「政府と市民セクター等との公契約等のありかた等に関する専門調査会」委員、内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査に関する研究会」委員・座長、環境省「企業の生物多様性保全活動の経済価値評価に係る技術的検討会」委員等、公的機関委員を多数歴任。

事業の関係者をパネリストに迎え、資金提供者、中間支援組織、サービス実施団体といった、それぞれの立場からモデル事業に取り組んだ効果や課題についてディスカッションを行います。

## 〈パネリスト（予定）〉

麻崎 久美子 氏（ゴールドマン・サックス証券株式会社）

塚本 一郎 氏（株式会社 公共経営・社会戦略研究所 代表取締役社長）

濱田 静江 氏（社会福祉法人 たすけあい ゆい<sup>※5</sup> 理事長）

吉川 勇 氏（社会福祉法人 たすけあい ゆい）

## 〈ファシリテーター〉

梅澤 厚也（横浜市政策局共創推進室長）